



平成27年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ
(コード番号：9704 東証第1部)
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹
(TEL 03-3436-1860)

(訂正) 「平成21年12月期第2四半期決算短信」の一部訂正について

当社は平成21年7月31日に開示しました「平成21年12月期第2四半期決算短信」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由


訂正内容と理由につきましては、平成27年3月20日付「社内調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」および平成27年4月30日付「『平成26年12月期 有価証券報告書の提出』および『過年度に係る有価証券報告書等および内部統制報告書の訂正報告書の提出』並びに『過年度に係る決算短信等の訂正』に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員 

平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 東海観光株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9704 URL <http://www.tokaikanko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理管掌取締役 (氏名) 宍戸 佐太郎 TEL 03-5488-1010
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績 (平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	561	—	△30	—	9	—	△5	—
20年12月期第2四半期	517	57.0	△340	—	△267	—	221	84.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	△0.03	—
20年12月期第2四半期	1.17	—

(参考) 持分法投資損益 21年12月期第2四半期 0百万円 20年12月期第2四半期 49百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	10,853	7,342	67.4	38.65
20年12月期	10,926	7,306	66.7	38.50

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 7,318百万円 20年12月期 7,290百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

平成21年7月31日付「平成21年12月期 配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております。

3. 平成21年12月期の連結業績予想 (平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,057	△4.5	△89	—	△68	—	△98	—	△0.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有

新規 一社 （社名 センナリー・デベロップメント社、グロ
ーリー・ドラゴン・デベロップメント
社、ライト・タイム・プロパティーズ ） 除外 4社 （社名
社、チーム・ユナイテッド・プロパティ
ーズ社

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4 ページ（定性的情報・財務諸表等） 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年12月期第2四半期	189,467,686株	20年12月期	189,467,686株
② 期末自己株式数	21年12月期第2四半期	145,382株	20年12月期	132,010株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年12月期第2四半期	189,328,767株	20年12月期第2四半期	189,354,598株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第 2 四半期連結累計期間の経営成績)

当第 2 四半期連結累計期間(平成21年1月1日～平成21年6月30日)におけるわが国の経済は、世界的な金融不安による景気の急激な悪化と株式市場には底打ちの兆しが見えてきたものの、設備投資の抑制や雇用・所得情勢の悪化を受け個人消費が停滞するなど、先行きは依然不透明な状況となっております。

当第 2 四半期の旅行業界は新型インフルエンザの懸念から旅行を控える動きが広がった影響で第 1 四半期と比べ国内旅行の業況判断指数が 6 ポイント悪化しました。

このような経済状況のもとで、当社グループの経営成績は、株式市況の持ち直し等により売上高では561百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

利益面では、収益性の向上により、営業損失が30百万円と前年同期比310百万円、経常利益は9百万円で前年同期比276百万円とそれぞれ改善しました。また、四半期純損失は前年同期に特別利益502百万円を計上しておりましたので前年同期比216百万円減少の5百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

(1) 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、新型インフルエンザの影響で、売上高は224百万円(前年同期比6.1%減)となりました。また、利益面では引き続き収益性向上に力を注ぎ、営業損失は30百万円(前年同期比37.6%減)と減収増益となりました。

(2) 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、景気低迷の影響を受け軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は139百万円(前年同期比15.0%減)となり、営業利益は55百万円(前年同期比24.4%減)と減収減益となりました。

(3) 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、国際的証券市況の持ち直しにより黒字化となり、売上高は75百万円を計上する事ができ、営業利益も同じく75百万円(前年同期は営業損失214百万円)となり、前年同期比289百万円の改善となりました。

(4) 霊園事業

霊園事業部門におきましては、景気低迷の影響を受けたものの堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は122百万円(前年同期比6.8%増)となり、営業損失は14百万円(前年同期は営業損失41百万円)と増収増益となりました。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しているため、文中の前年同期比の増減金額及び増減率は、参考情報として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第 2 四半期連結累計期間末における資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比73百万円減少の10,853百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末比108百万円減少の3,511百万円となりました。

この結果、当第 2 四半期末における純資産は、前連結会計年度末比35百万円増加の7,342百万円となり、自己資本比率は、67.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比315百万円減少の317百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業投資有価証券及びその他の流動負債の増加等により18百万円の支出（前年同期比95.4%減）となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入等により18百万円の支出（前年同期 11.7%増）となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済等により279百万円の支出（前年同期は61百万円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当期の見通しにつきましては、平成21年7月30日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の移動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動）

期中における重要な子会社の移動は「除外4社」で、詳細は以下の通りであります。

名称	資本金又は出資金	主要な事業の内容	議決権の所有割合
センチナリー・デベロップメント社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
グローリー・ドラゴン・デベロップメント社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
ライト・タイム・プロパティーズ社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
チーム・ユナイテッド・プロパティーズ社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%

(注) 上記4社はすべて英領ヴァージン諸島国際事業会社法 (B.V.I International Business Act.) に基づく投資事業会社であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税効果会計につきまして、簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

(四半期連結財務諸表に関する会計基準)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは継続的に営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況を解消すべく、主に以下の内容の諸施策を継続的に実施しております。

① 宿泊事業

従来より料理・サービス並びに施設の改善に努めておりますが、引き続き本社営業部門の拡充、東南アジアを主とした海外集客等の営業を強化する一方、仕入れ先の選定等も行い、収益性の向上を図ってまいります。

② 住宅等不動産開発事業

所有している都内賃貸マンションは満室化を目標にコストの低減をはかり収益性を向上させてまいります。又、安定収入を得るために収益性の良い物件を取得すべく努めてまいります。

③ 霊園事業

新しい納骨堂の建設を行い、納骨堂の販売に伴う大幅な売上の増加を図ってまいります。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,211	819,504
売掛金	24,376	34,592
有価証券	566,901	351,145
貯蔵品	10,153	11,030
開発事業等支出金	490,749	472,813
その他	161,275	78,338
貸倒引当金	△4,965	△5,509
流動資産合計	1,764,701	1,761,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	594,632	614,796
車両運搬具（純額）	6,796	7,890
工具、器具及び備品（純額）	18,587	18,918
土地	1,594,906	1,594,906
賃貸不動産（純額）	4,856,561	4,874,543
有形固定資産合計	7,071,484	7,111,055
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
ソフトウェア	910	978
のれん	1,617,840	1,662,780
電話加入権	4,326	4,326
無形固定資産合計	1,628,076	1,673,084
投資その他の資産		
投資有価証券	370,287	331,309
長期貸付金	—	24,162
その他	28,931	35,457
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	389,219	380,929
固定資産合計	9,088,781	9,165,069
資産合計	10,853,482	10,926,985

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,770	53,520
短期借入金	76,734	274,042
1年内返済予定の長期借入金	118,872	118,795
未払金	388,629	290,372
未払費用	32,588	31,570
未払法人税等	24,968	14,943
その他	159,289	106,912
流動負債合計	<u>850,852</u>	<u>890,156</u>
固定負債		
長期借入金	2,605,075	2,664,261
退職給付引当金	2,384	2,270
長期預り保証金	31,478	46,810
その他	21,384	16,552
固定負債合計	<u>2,660,322</u>	<u>2,729,895</u>
負債合計	<u>3,511,174</u>	<u>3,620,052</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,314,848	10,314,848
資本剰余金	4,004,963	7,039,002
利益剰余金	<u>△6,996,831</u>	<u>△10,022,401</u>
自己株式	<u>△11,762</u>	<u>△11,388</u>
株主資本合計	<u>7,311,217</u>	<u>7,320,059</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,767	△25,777
為替換算調整勘定	<u>△878</u>	<u>△3,913</u>
評価・換算差額等合計	<u>6,888</u>	<u>△29,690</u>
新株予約権	3,500	—
少数株主持分	20,701	16,564
純資産合計	<u>7,342,307</u>	<u>7,306,932</u>
負債純資産合計	<u>10,853,482</u>	<u>10,926,985</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
売上高	561,659
売上原価	<u>374,055</u>
売上総利益	<u>187,604</u>
販売費及び一般管理費	<u>218,022</u>
営業損失(△)	<u>△30,418</u>
営業外収益	
受取利息	14,852
受取配当金	32,912
為替差益	25,101
持分法による投資利益	104
その他	343
営業外収益合計	<u>73,315</u>
営業外費用	
支払利息	33,034
その他	710
営業外費用合計	<u>33,744</u>
経常利益	<u>9,151</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>9,151</u>
法人税、住民税及び事業税	8,515
少数株主利益	6,372
四半期純損失(△)	<u>△5,735</u>

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	9,151
減価償却費	46,462
のれん償却額	44,940
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△543
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	113
受取利息及び受取配当金	△47,765
支払利息	33,034
為替差損益 (△は益)	△25,101
持分法による投資損益 (△は益)	△104
売上債権の増減額 (△は増加)	10,215
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△196,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,024
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,749
未払費用の増減額 (△は減少)	1,017
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△19,699
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	157,456
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	6,525
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	9,226
その他	△2,083
小計	<u>8,498</u>
利息及び配当金の受取額	14,789
利息の支払額	△33,034
法人税等の支払額	△8,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△18,261</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△12,513
有形固定資産の取得による支出	△5,975
無形固定資産の取得による支出	△108
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△18,597</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△219,828
長期借入金の返済による支出	△59,186
自己株式の取得による支出	△387
自己株式の処分による収入	13
配当金の支払額	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△279,842</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	894
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△315,806</u>
現金及び現金同等物の期首残高	632,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>317,108</u>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	宿泊事業 (千円)	住宅等不動産 開発事業 (千円)	霊園事業 (千円)	証券投資事 業(千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高	224,618	139,233	122,478	75,328	561,659	—	561,659
営業利益又は営業損失 (△)	△30,180	55,869	<u>△14,236</u>	75,328	<u>86,781</u>	(117,200)	<u>△30,418</u>

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要なサービス

- 宿泊事業 : リゾートホテル・旅館の経営
- 住宅等不動産開発事業 : 住宅・店舗・駐車場・土地等不動産の賃貸及び開発
- 霊園事業 : 霊園の開発及び経営
- 証券投資事業 : 金融商品による運用

② 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	マレーシア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	439,180	122,478	561,659	—	561,659
営業利益又は営業損失(△)	101,017	<u>△14,236</u>	<u>86,781</u>	(117,200)	<u>△30,418</u>

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

③ 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	マレーシア	計
海外売上高 (千円)	122,478	122,478
連結売上高 (千円)	561,659	561,659
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	21.8	21.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年3月27日に開催した定時株主総会の承認により、以下のとおり振替処理（損失補填）しております。

科目	平成20年12月31日 現在残高	資本準備金よりその 他資本剰余金へ振替	損失補填	処理後残高
資本準備金 (円)	5,212,107,000	△1,207,132,442	—	4,004,974,558
その他資本剰余金 (円)	1,826,895,182	1,207,132,442	△3,034,027,624	0
繰越利益剰余金 (円)	<u>△10,022,401,907</u>	—	3,034,027,624	<u>△6,988,374,283</u>
合計	<u>△2,983,399,725</u>	0	0	<u>△2,983,399,725</u>

「参考資料」

前年同期間に係る財務諸表等

(1) (要約) 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月 30日)	
売上高			517,599
売上原価			610,864
売上総損失(△)			<u>△93,264</u>
販売費及び一般管理費			<u>247,565</u>
営業損失(△)			<u>△340,829</u>
営業外収益			
(受取利息)	20,986		
(受取配当金)	213		
(為替差益)	37,308		
(持分法による投資利益)	49,557		
(その他)	1,177	109,243	
営業外費用			
(支払利息)	34,812		
(株式発行費)	483		
(その他)	258	35,553	
経常損失(△)			<u>△267,140</u>
特別利益			
(新株予約権戻入益)	18,276		
(債権受贈益)	483,854	502,130	
特別損失			
(固定資産除却損)	320		
(その他)	<u>2,439</u>	<u>2,759</u>	
税金等調整前中間純利益			<u>232,230</u>
法人税、住民税及び事業税			8,668
少数株主利益			1,563
中間純利益			<u>221,998</u>

(2) (要約) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月 30日)
	金額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		232,230
減価償却費		62,287
のれん償却額		44,940
貸倒引当金の増加・減少(△)額		8,331
退職給付引当金の増加・減少(△)額		108
受取利息及び受取配当金		△21,199
為替差益		△27,640
持分法による投資利益(△)・損失		△49,557
支払利息		34,812
新株予約権戻入益		△18,276
有形固定資産除却損		320
子会社株式評価損		24,556
売上債権の増加(△)・減少額		△8,287
たな卸資産の増加(△)・減少額		4,008
霊園開発資産の増加(△)・減少額		△364,798
仕入債務の増加・減少(△)額		13,293
未払費用の増加・減少(△)額		△130,367
有価証券の増加(△)・減少額		△28,477
その他流動資産の増加(△)・減少額		△3,336
その他流動負債の増加・減少(△)額		654
その他固定資産の増加(△)・減少額		14,017
その他固定負債の増加・減少(△)額		△276,281
その他		11,075
小計		△477,582
利息及び配当金の受取額		122,711
利息の支払額		△34,812
法人税等の支払額		△8,668
営業活動によるキャッシュ・フロー		△398,352

科目	期別	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)
	金額	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△33,033
無形固定資産の取得による支出		△350
投資有価証券・関係会社株式の取得による支出		△2,139
貸付金の回収による収入		18,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		△16,642
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額		295,357
自己株式の取得・売却による純支出		△644
長期借入金の借入による収入		7,762
長期借入金の返済による支出		△58,655
配当金の支払額		△182,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		61,447
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		76,309
V 現金及び現金同等物の増加・減少額 (△)		△277,238
VI 現金及び現金同等物の期首残高		1,031,648
VII 現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高		754,409

(3) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成20年 1 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)

(単位：千円)

	宿泊事業	住宅等不動産開発事業	霊園事業	証券投資事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	239,109	163,823	114,666	—	517,599	—	517,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	239,109	163,823	114,666	—	517,599	—	517,599
営業費用	287,503	89,947	<u>155,995</u>	214,595	<u>748,040</u>	110,388	<u>858,429</u>
営業利益又は営業損失(△)	△48,393	73,875	<u>△41,328</u>	△214,595	<u>△230,441</u>	(110,388)	<u>△340,829</u>

(注) 1. 事業区分は内部管理上、採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- ① 宿泊事業…………… リゾート旅館の経営
- ② 住宅等不動産開発事業…… 店舗及び駐車場の賃貸事業及び住宅等不動産開発事業
- ③ 霊園事業…………… 霊園の開発及び経営
- ④ 証券投資事業…………… 証券による運用

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社での総務部門等管理部門に係る費用であります。

② 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成20年 1 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)

(単位：千円)

	日本	東南アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	402,932	114,666	517,599	—	517,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	402,932	114,666	517,599	—	517,599
営業費用	592,045	<u>155,995</u>	<u>748,040</u>	110,388	<u>858,429</u>
営業損失(△)	△189,112	<u>△41,328</u>	<u>△230,441</u>	(110,388)	<u>△340,829</u>

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

東南アジア……………マレーシア、フィリピン

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社での総務部門等管理部門に係る費用であります。

③ 海外売上高


前中間連結会計年度（自 平成20年 1 月 1 日 至 平成20年 6 月30日）

		東南アジア	計
I 海外売上高	(千円)	114,666	114,666
II 連結売上高	(千円)	517,599	517,599
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	(%)	22.2	22.2

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(訂正前)

(財)財務会計基準機構会員 

平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 東海観光株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9704 URL <http://www.tokaikanko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理管掌取締役 (氏名) 宍戸 佐太郎 TEL 03-5488-1010
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績 (平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	561	—	△8	—	31	—	16	—
20年12月期第2四半期	517	57.0	△340	—	△266	—	527	339.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	0.09	—
20年12月期第2四半期	2.79	—

(参考) 持分法投資損益 21年12月期第2四半期 0百万円 20年12月期第2四半期 49百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	16,918	13,407	79.1	70.82
20年12月期	16,649	13,029	78.2	68.81

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 13,387百万円 20年12月期 13,012百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

平成21年7月31日付「平成21年12月期 配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております。

3. 平成21年12月期の連結業績予想 (平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,057	△4.5	△89	—	△68	—	△98	—	△0.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有

新規 一社 （社名 センナリー・デベロップメント社、グロ
ーリー・ドラゴン・デベロップメント
社、ライト・タイム・プロパティーズ ）
社、チーム・ユナイテッド・プロパティ
ーズ社

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4 ページ（定性的情報・財務諸表等） 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年12月期第2四半期	189,467,686株	20年12月期	189,467,686株
② 期末自己株式数	21年12月期第2四半期	145,382株	20年12月期	132,010株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年12月期第2四半期	189,328,767株	20年12月期第2四半期	189,354,598株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第 2 四半期連結累計期間の経営成績)

当第 2 四半期連結累計期間(平成21年1月1日～平成21年6月30日)におけるわが国の経済は、世界的な金融不安による景気の急激な悪化と株式市場には底打ちの兆しが見えてきたものの、設備投資の抑制や雇用・所得情勢の悪化を受け個人消費が停滞するなど、先行きは依然不透明な状況となっております。

当第 2 四半期の旅行業界は新型インフルエンザの懸念から旅行を控える動きが広がった影響で第 1 四半期と比べ国内旅行の業況判断指数が 6 ポイント悪化しました。

このような経済状況のもとで、当社グループの経営成績は、株式市況の持ち直し等により売上高では561百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

利益面では、収益性の向上により、営業損失が8百万円と前年同期比332百万円、経常利益は31百万円で前年同期比298百万円とそれぞれ改善しました。また、四半期純利益は前年同期に特別利益867百万円を計上しておりましたので前年同期比511百万円減少の16百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

(1) 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、新型インフルエンザの影響で、売上高は224百万円(前年同期比6.1%減)となりました。また、利益面では引き続き収益性向上に力を注ぎ、営業損失は30百万円(前年同期比37.6%減)と減収増益となりました。

(2) 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、景気低迷の影響を受け軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は139百万円(前年同期比15.0%減)となり、営業利益は55百万円(前年同期比24.4%減)と減収減益となりました。

(3) 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、国際的証券市況の持ち直しにより黒字化となり、売上高は75百万円を計上する事ができ、営業利益も同じく75百万円(前年同期は営業損失214百万円)となり、前年同期比289百万円の改善となりました。

(4) 霊園事業

霊園事業部門におきましては、景気低迷の影響を受けたものの堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は122百万円(前年同期比6.8%増)となり、営業利益は7百万円(前年同期は営業損失40百万円)と増収増益となりました。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しているため、文中の前年同期比の増減金額及び増減率は、参考情報として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第 2 四半期連結累計期間末における資産は、現金及び預金の減少及び有価証券の増加等により前連結会計年度末比269百万円増加の16,918百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末比108百万円減少の3,511百万円となりました。

この結果、当第 2 四半期末における純資産は、前連結会計年度末比378百万円増加の13,407百万円となり、自己資本比率は、79.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比315百万円減少の317百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業投資有価証券及びその他の流動負債の増加等により18百万円の支出（前年同期比95.4%減）となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入等により18百万円の支出（前年同期 11.7%増）となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済等により279百万円の支出（前年同期は61百万円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当期の見通しにつきましては、平成21年7月30日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の移動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動）

期中における重要な子会社の移動は「除外4社」で、詳細は以下の通りであります。

名称	資本金又は出資金	主要な事業の内容	議決権の所有割合
センテナリー・デベロップメント社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
グローリー・ドラゴン・デベロップメント社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
ライト・タイム・プロパティーズ社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
チーム・ユナイテッド・プロパティーズ社	2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%

(注) 上記4社はすべて英領ヴァージン諸島国際事業会社法 (B.V.I International Business Act.) に基づく投資事業会社であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税効果会計につきまして、簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

(四半期連結財務諸表に関する会計基準)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	516,211	819,504
売掛金	24,376	34,592
有価証券	566,901	351,145
貯蔵品	10,153	11,030
開発事業等支出金	<u>8,173,993</u>	<u>7,858,193</u>
その他	<u>131,014</u>	78,338
貸倒引当金	<u>△4,965</u>	<u>△5,509</u>
流動資産合計	<u>9,417,684</u>	<u>9,147,296</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	594,632	614,796
車両運搬具（純額）	6,796	7,890
工具、器具及び備品（純額）	18,587	18,918
土地	1,594,906	1,594,906
賃貸不動産（純額）	4,856,561	4,874,543
有形固定資産合計	<u>7,071,484</u>	<u>7,111,055</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
ソフトウェア	910	978
電話加入権	4,326	4,326
無形固定資産合計	<u>10,236</u>	<u>10,304</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	370,287	331,309
長期貸付金	<u>30,261</u>	24,162
その他	28,931	35,457
貸倒引当金	<u>△10,000</u>	<u>△10,000</u>
投資その他の資産合計	<u>419,480</u>	<u>380,929</u>
固定資産合計	<u>7,501,202</u>	<u>7,502,289</u>
資産合計	<u>16,918,886</u>	<u>16,649,585</u>

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,770	53,520
短期借入金	76,734	274,042
1年内返済予定の長期借入金	118,872	118,795
未払金	388,629	290,372
未払費用	32,588	31,570
未払法人税等	24,968	14,943
その他	159,289	106,912
流動負債合計	<u>850,852</u>	<u>890,156</u>
固定負債		
長期借入金	2,605,075	2,664,261
退職給付引当金	2,384	2,270
長期預り保証金	31,478	46,810
その他	21,384	16,552
固定負債合計	<u>2,660,322</u>	<u>2,729,895</u>
負債合計	<u>3,511,174</u>	<u>3,620,052</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,314,848	10,314,848
資本剰余金	4,004,963	7,039,002
利益剰余金	<u>981,913</u>	<u>△2,065,801</u>
自己株式	<u>△11,762</u>	<u>△11,388</u>
株主資本合計	<u>15,289,962</u>	<u>15,276,659</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,767	△25,777
為替換算調整勘定	<u>△1,914,220</u>	<u>△2,237,913</u>
評価・換算差額等合計	<u>△1,906,452</u>	<u>△2,263,690</u>
新株予約権	3,500	
少数株主持分	20,701	16,564
純資産合計	<u>13,407,711</u>	<u>13,029,533</u>
負債純資産合計	<u>16,918,886</u>	<u>16,649,585</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)
売上高	561,659
売上原価	396,850
売上総利益	164,809
販売費及び一般管理費	173,082
営業損失(△)	△8,273
営業外収益	
受取利息	14,852
受取配当金	32,912
為替差益	25,101
持分法による投資利益	104
その他	343
営業外収益	73,315
営業外費用	
支払利息	33,034
その他	710
営業外費用	33,744
経常利益	31,297
税金等調整前四半期純利益	31,297
法人税、住民税及び事業税	8,515
少数株主利益	6,372
四半期純利益	16,409

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第 2 四半期連結累計期間
(自 平成21年 1 月 1 日
至 平成21年 6 月 30 日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	31,297
減価償却費	46,462
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△543
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	113
受取利息及び受取配当金	△14,789
支払利息	33,034
為替差損益 (△は益)	△25,101
持分法による投資損益 (△は益)	△104
売上債権の増減額 (△は増加)	10,215
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△196,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,770
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,749
未払費用の増減額 (△は減少)	1,017
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△85,651
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	157,456
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	6,525
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	9,226
その他	△2,083
小計	△24,477
利息及び配当金の受取額	47,765
利息の支払額	△33,034
法人税等の支払額	△8,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△12,513
有形固定資産の取得による支出	△5,975
無形固定資産の取得による支出	△108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△219,828
長期借入金の返済による支出	△59,186
自己株式の取得による支出	△387
自己株式の処分による収入	13
配当金の支払額	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	894
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△315,806
現金及び現金同等物の期首残高	632,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	317,108

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	宿泊事業 (千円)	住宅等不動産 開発事業 (千円)	霊園事業 (千円)	証券投資事 業(千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高	224,618	139,233	122,478	75,328	561,659	—	561,659
営業利益又は営業損失 (△)	△30,180	55,869	<u>7,908</u>	75,328	<u>108,926</u>	(117,200)	<u>△8,273</u>

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要なサービス

- 宿泊事業 : リゾートホテル・旅館の経営
- 住宅等不動産開発事業 : 住宅・店舗・駐車場・土地等不動産の賃貸及び開発
- 霊園事業 : 霊園の開発及び経営
- 証券投資事業 : 金融商品による運用

② 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	マレーシア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	439,180	122,478	561,659	—	561,659
営業利益又は営業損失(△)	101,017	<u>7,908</u>	<u>108,926</u>	(117,200)	<u>△8,273</u>

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

③ 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	マレーシア	計
海外売上高 (千円)	122,478	122,478
連結売上高 (千円)	561,659	561,659
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	21.8	21.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年3月27日に開催した定時株主総会の承認により、以下のとおり振替処理（損失補填）しております。

科目	平成20年12月31日 現在残高	資本準備金よりその 他資本剰余金へ振替	損失補填	処理後残高
資本準備金 (円)	5,212,107,000	△1,207,132,442	—	4,004,974,558
その他資本剰余金 (円)	1,826,895,182	1,207,132,442	△3,034,027,624	0
繰越利益剰余金 (円)	<u>△3,034,027,624</u>	—	3,034,027,624	<u>0</u>
合計	<u>4,004,974,558</u>	0	0	<u>4,004,974,558</u>

「参考資料」

前年同期間に係る財務諸表等

(1) (要約) 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)	
売上高			517,599
売上原価			655,410
売上総損失(△)			<u>△137,810</u>
販売費及び一般管理費			<u>202,625</u>
営業損失(△)			<u>△340,436</u>
営業外収益			
(受取利息)	20,986		
(受取配当金)	213		
(為替差益)	37,308		
(持分法による投資利益)	49,557		
(その他)	1,177	109,243	
営業外費用			
(支払利息)	34,812		
(株式発行費)	483		
(その他)	258	35,553	
経常損失(△)			<u>△266,746</u>
特別利益			
(新株予約権戻入益)	18,276		
(債権受贈益)	483,854		
(長期預り保証金取崩益)	<u>365,851</u>	867,981	
特別損失			
(固定資産除却損)	320		
(その他)	<u>62,951</u>	<u>63,271</u>	
税金等調整前中間純利益			<u>537,963</u>
法人税、住民税及び事業税			8,668
少数株主利益			1,563
中間純利益			<u>527,731</u>

(2) (要約) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月 30日)
		金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		537,963
減価償却費		62,287
貸倒引当金の増加・減少(△)額		8,331
退職給付引当金の増加・減少(△)額		108
受取利息及び受取配当金		△21,199
為替差益		△27,640
持分法による投資利益(△)・損失		△49,557
支払利息		34,812
新株予約権戻入益		△18,276
長期預り保証金取崩益		△365,851
有形固定資産除却損		320
子会社株式評価損		24,556
売上債権の増加(△)・減少額		△8,287
たな卸資産の増加(△)・減少額		4,008
霊園開発資産の増加(△)・減少額		△320,252
仕入債務の増加・減少(△)額		13,293
未払費用の増加・減少(△)額		△130,367
有価証券の増加(△)・減少額		△28,477
その他流動資産の増加(△)・減少額		△3,336
その他流動負債の増加・減少(△)額		61,167
その他固定資産の増加(△)・減少額		14,017
その他固定負債の増加・減少(△)額		△276,281
その他		11,075
小計		△477,582
利息及び配当金の受取額		122,711
利息の支払額		△34,812
法人税等の支払額		△8,668
営業活動によるキャッシュ・フロー		△398,352

科目	期別	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)
	金額	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△33,033
無形固定資産の取得による支出		△350
投資有価証券・関係会社株式の取得による支出		△2,139
貸付金の回収による収入		18,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		△16,642
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額		295,357
自己株式の取得・売却による純支出		△644
長期借入金の借入による収入		7,762
長期借入金の返済による支出		△58,655
配当金の支払額		△182,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		61,447
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		76,309
V 現金及び現金同等物の増加・減少額 (△)		△277,238
VI 現金及び現金同等物の期首残高		1,031,648
VII 現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高		754,409

(3) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

(単位: 千円)

	宿泊事業	住宅等不動産開発事業	霊園事業	証券投資事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	239,109	163,823	114,666	—	517,599	—	517,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	239,109	163,823	114,666	—	517,599	—	517,599
営業費用	287,503	89,947	<u>155,601</u>	214,595	<u>747,647</u>	110,388	<u>858,035</u>
営業利益又は営業損失 (△)	△48,393	73,875	<u>△40,934</u>	△214,595	<u>△230,047</u>	(110,388)	<u>△340,436</u>

(注) 1. 事業区分は内部管理上、採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- ① 宿泊事業…………… リゾート旅館の経営
- ② 住宅等不動産開発事業…… 店舗及び駐車場の賃貸事業及び住宅等不動産開発事業
- ③ 霊園事業…………… 霊園の開発及び経営
- ④ 証券投資事業…………… 証券による運用

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社での総務部門等管理部門に係る費用であります。

② 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

(単位: 千円)

	日本	東南アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	402,932	114,666	517,599	—	517,599
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	402,932	114,666	517,599	—	517,599
営業費用	592,045	<u>155,601</u>	<u>747,647</u>	110,388	<u>858,035</u>
営業利益又は営業損失 (△)	△189,112	<u>△40,934</u>	<u>△230,047</u>	(110,388)	<u>△340,436</u>

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- 東南アジア……………マレーシア、フィリピン

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社での総務部門等管理部門に係る費用であります。

③ 海外売上高

前中間連結会計年度（自 平成20年 1 月 1 日 至 平成20年 6 月30日）

	東南アジア	計
I 海外売上高 (千円)	114,666	114,666
II 連結売上高 (千円)	517,599	517,599
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	22.2	22.2

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。